

謹賀新年

令和7年1月1日発行
山梨県道志村議会

どうし 議会だより

NO. 65

道志
から見える 富士山

📷 (上) 東部広域林道南線
(下) 林道菜畑線

contents

P3 村長施政方針 P11 活躍する団体紹介(道志村和太鼓同好会 ひびき 響生) P12 がんばる団体紹介(道志村観光協会 水越 久敬さん)

おもな審議・可決事項

●条例の改正（4件）

- ・道志村職員給与条例の一部を改正する条例等他3件

●変更

- ・山梨県市町村総合事務組合規約の変更

●令和6年度道志村一般会計補正予算（第5回）

おもな財源		おもな使いみち
国庫支出金	408万円	総務費（総務管理費他）3,168万円
県支出金	245万円	民生費（社会福祉費、児童福祉費他）1,692万円
繰入金	4,309万円	衛生費（保健衛生費他）459万円
村債	770万円	商工費（再配達削減推進事業費他）269万円
		教育費（社会教育費他）550万円

●契約

- ・工事請負契約の締結について
（道志村買い物環境整備工事（建設本体工事））他1件

●請願

「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」の日本政府への提出についての請願。

請願者

女性差別撤廃アクションやまなし代表・池田政子 副代表・山内幸雄より請願書が提出され、全員協議会の結果、総務文教常任委員会に付託し理解を深めたうえで議案提出することとしました。

一般会計補正予算 産業・地域経済活性化推進事業 （宅配ボックスの購入支援）等審議

「会期」12月3日～6日
 ●条例（4件）
 ●変更（1件）
 ●補正予算（7件）
 ●契約（2件）
 ●請願（1件）

「安心・安全で 豊かな道志村づくり」

子や孫の世代でも村に住んでもらえるために、地域強靱化によるインフラ整備の必要性を訴え、国道や県道の改良は、山梨県の事業であります。町村会会長として、県道路整備促進協会の会長を務めており、県土整備部と共に、県選出の国会議



国会議員との要望活動

員の先生方の協力をいただきながら、国土交通省や関東地方整備局に道路関係予算の確保要望活動を行ってまいりました。先月だけでも、5回にわたり国を訪れ、県砂防協会の副会長として、県事業と共に、村の地域強靱化の必要性を訴えてまいりました。

また、私の就任以降の公約であります都留道志線（新道坂トンネル）は、山梨県におきまして、県公共事業評価委員会での事業評価で、災害に強い道路の確保や都留市へのアクセス向上が期待される、必要性が高い事業として実施が妥当との評価をいただきました。

「子供子育て支援」

今年度より強化しております「子育て支援パッケージ事業」

では、全国トップクラスの子育て支援施策をそろえ、魅力ある村を創出し、特に若年世代が、住んでみたい村・住んでよかった村だと思えるよう取り組んでおります。

「演歌特別鑑賞会」

全ての村民に芸能という文化に触れて楽しんでもらうことと、コロナ禍での外出制限により、村民同士の交流機会も少なくなっていたことから、多くの村民が集う機会を作り、活気ある村を取り戻し、生きがいを持つていただこうと計画したものであります。

当日は、あいにくの天気にもかかわらず、多くの村民の皆様にご来場いただき、石原じゅん子さん、松坂ゆうきさんといった一流の歌手の演歌に魅了されました。司会をお願いした、お笑い芸人のお二人や、石原さん、松坂さんの軽快なトークで会場は大いに盛り上がり、久しぶりに村が一つとなった、意味のあるイベントにでき



演歌特別鑑賞会

たと思っております。

当日参加した村民からは、開催に対する感謝の言葉をいただくことができました。また、都合があつて来場できなかった村民からも、来年も開催して欲しいとのご意見をいただいております。

これからも、村民の皆様が、真に豊かさを実感できる村づくりに取り組んでまいりますので、議員の皆様においても、引き続きご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。



おさだ かずお
長田 和夫 議員

耕作放棄地解消の取り組みは

産業振興課長 鳥獣害防護柵の修繕及び
新設を行う

◎ 耕作放棄地をなくすための
対策、又、荒廃農地で迷惑して
いる住民の対策は。

▲（産業振興課長） 村では、耕
作放棄地を無くすための対策と
して、耕作地への侵入を防ぐ、
鳥獣害防護柵の修繕及び新設を
行っています。また、広報でも



耕作放棄地

案内していますが、個人で防護
柵等の防除施設を整備する方へ
購入費用の一部助成や米作り推
進事業におきましても水稻苗を
購入した方への補助を行ってい
ます。

このような対策で生産意欲の
向上を図り耕作放棄地の解消に
つながればと考えています。

また、荒廃農地で迷惑してい
る住民への対策はしていませ
ん。広報や農業委員を通じ、荒
廃農地の所有者に対し、荒廃を
解消するよう促していきます。

◎ 耕作放棄地の原因の一つに
なっている後継者の育成は。

▲（産業振興課長） 後継者の育
成に関しましては、就農者が生
計を維持していくために道の駅
で農産物等の出荷の受け入れ、
ふるさと納税の返礼品登録など

販路の拡大を強化しています。

一方で、後継者不足も課題と
なっておりますので、新たな後
継者を増やすための新規就農者
向け助成制度等も周知していき
ます。

◎ 子育て環境に必要な公園、
広場整備は。

▲（住民健康課長） 現在、計画
期間を令和7年度から5年間と
したことも計画の策定を行って
おります。計画の策定にあたり、
今年8月に、子育て中の保護者
にアンケート調査を実施し、公
園整備についてもご意見を伺っ
たところです。今後、公園整備
については、アンケート調査の
結果も考慮し、現在ある施設、
公園の活用も視野に入れ、検討
して参ります。

なお、現在においても道志村



公園風景

保育所の園庭を休日に一般開放
するなど、既存施設の活用も行
なっています。

◎ 整備に必要な予算は「ふる
さと納税の医療・福祉環境の充
実に関する事業子育て環境の充
実」への充当は。

▲（ふるさと振興課長） ふるさ
と納税の基金の使途は、寄付を
された方の思いを反映する事業
に限定されます。

公園整備や遊具設置に関して
は、医療・福祉環境の充実に関
する事業に該当いたしますので、
ふるさと納税の基金は充当
可能です。
（再質問あり）



さとう ひろかず
佐藤 広一 議員

道の駅どうしの騒音対策は

村長 注意看板の設置、警察によるパトロールの実施等

◎ 近年、「道の駅どうし」には外国人の増加も含め観光客が多数来場しており、本県の道の駅ではトップクラスの集客を誇り、村民としても誇りに思い、誠にうれしい限りですが、「道の駅どうし」の周辺では連日多数の来場者による騒音が周辺地域に響き渡り、道の駅周辺の住民には精神的な苦痛・迷惑がかかっています。その対策は。

▲ (村長) 道の駅どうしにつきましては、平成11年4月にオープンして以来、25年が経過しました。毎年80万人程の観光客等が利用されており、村にとっても重要な施設となっております。



道の駅どうし

騒音対策としては、既に第1駐車場の国道側及び第2、第3駐車場の夜間閉鎖、駐車場内における騒音等の注意看板の設置、警察によるパトロール等の実施により騒音の軽減につな

がるよう対応させて頂いています。

騒音看板につきましては、老朽化もしていますので、表記の内容も含め、来場者に分かりやすい看板を設置できるよう検討させて頂きます。

防音壁につきましては、景觀に配慮し、設置する予定はございません。国道沿いに植栽を施し、騒音軽減を図らせて頂いております。

道の駅周辺の住民の皆様には、ご不便、ご迷惑をお掛けしますが、引き続きご理解ご協力をお願いします。

◎ 神地地区神地沢水害対策は 神地沢は大正9年の台風による豪雨被害で氾濫がおこり神地地区で数名の死者を出した歴史に残る大災害に見舞わ



水害のあった神地沢

れました。

その水害から100年余り経過しておりますが、いまだに神地沢に対する安全対策がなされていません。二度とこの様な被害に遭わない為にも早急に水害対策を実施する必要があると考えます。

そこで、水害対策に対する県への要望は。

▲ (産業振興課長) 令和4年度に神地沢の砂防工事を村から県へ要望させて頂き、現在事業化されたと聞いています。

(再質問あり)



なか い よしあき
仲井 義晶 議員

路線バスの一部廃止の村民への周知は

ふるさと振興課長

広報誌等を活用して周知していく

◎ 富士急からの申し入れについて、どのような経緯で内容だったのか、また、村民への情報の周知は。

Ａ（ふるさと振興課長） ２０２４

年問題によるドライバー不足により、利用者の少ない便や最終便について削減したいとのことでした。

只今、両者間で、鋭意、協議

しているところであり、現時点では、結論に至っておりません。

村民への周知については、運行内容が決まり次第、広報誌等を活用して周知します。

◎ 通勤、通学、通院などが困難になる事は必至ですが、行政として村民に不便のない対応は。

Ａ（ふるさと振興課長） 富士急バスに對

しては、減便した場合の影響がどの程度になるのか、具体的な利用者数の実績を求めています。

影響の度合いを勘案しながら検討していきますが、特に、通

学については、出来る限り影響を少なくするよう慎重に対応していきます。

◎ 村民全体の問題としての視点で進めていく必要がある。村民の関心にどう向き合っていくのか。

Ａ（ふるさと振興課長） 減便した場合の影響がどの程度になるのか、具体的な利用者数の実績を求めています。

減便は利用者の少ない便や最終便であることから、直ちに全ての村民に影響を及ぼすものとは考えていません。

なお、影響の予想される高校生の通学については、既に保護者との意見交換会を行い検討しています。

◎ 合併浄化槽の設置問題で、移住者の登録率が低いため、合併浄化槽の設置や安全管理に問題がある。道志村では、ニーズに答えたいが、登録されていないので難しい。山梨県では、6月以降に対策が講じられたとのことだが、具体的にはどのような取り組みか。

Ａ（産業振興課長） 山梨県では、浄化槽協会と連携し、法定検査を受検していない方を対象として個別に受検案内を順次郵送しているとのこと。法定検査につきましては、浄化槽の保守点検・清掃が適切に実施され、浄化槽の機能が正常に維持されているか、また、放流水の水質が基準を満たしているかなどを確認するための検査となります。

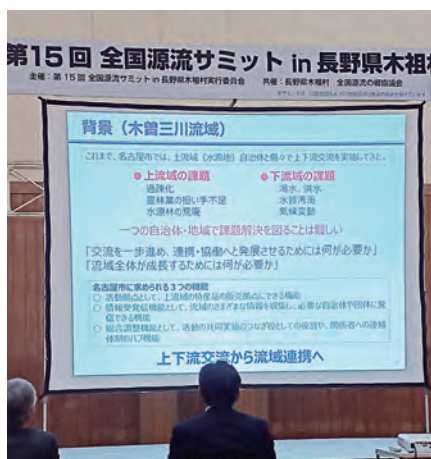
村の対象者の方につきましては、令和7年2月頃に郵送予定と聞いています。（再質問あり）

10/3

第15回 全国源流サミット in長野県木祖村

全国源流サミットに村会議員全員で
参加しました。

先進地事例発表では、「源流と下流域の共存」というテーマで、長野県根羽村村長・大久保憲一氏 一般社団法人名古屋環未来研究所代表理事・山田雅雄氏 名古屋市上下水道局経営本部企画経理部連携推進課長・堀口茂氏の講演があり、日本の源流域が国土保全や環境保全に位置していることの責任を自覚し、環境などの保全に努める



講演の風景

10/16

総務文教 常任委員会

ため源流と下流域の連携を持つ事の大
切さを学びました。

道志村における教育現状の実態調査

道志中学校で行われた、令和6年度「令和のやまなし教育活動モデル事業」公開研究会に参加しました。

一年生から三年生の授業を参観し、少人数の特徴を生かした、単元学習※で生徒自らが、学習内容を決め達成状況を確認しながら自分のペースで勉強を進めていました。中学校には、中間テスト、期末テストが無く単元学習終了後にテストを行い理解度の確認を行っているとのことでした。

この自由進度学習の目的は、生徒が話し合い目標を立て方向性を決めることでこれからの能力を図れ、自分の得意なところから学習でき習得すること、子供たちが幸せに暮らせることを目的として取り組んでいます。

また、参観終了後、当初より自由進



授業参観の様子

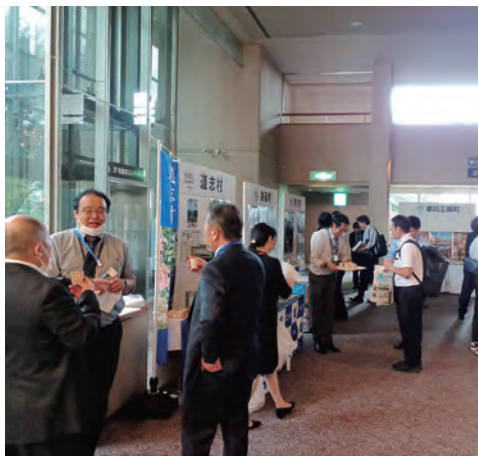
度学習を提唱しており、道志中でも指導を受けていた、早稲田大学 教育・総合科学学術院教授、博士（心理学）河村茂雄先生の「生徒の自律性を促す教師の伴走的支援」と題し、講演があり、道志中の先生は2年に入れ替わるが、若い先生方が本質を理解し、しっかりした指導を行っているとのことでした。この自由進度学習が本村に定着し移住者の増加につながり人口減少対策に貢献することを大いに期待するものであります。

※単元学習とは 単元とは学習教科のひとつとまりを数時間単位にしたもので、その中で自由進度学習をするのは、単元の狙いとゴールを明らかにして時間内で児童・生徒が見通しを持って自らの学習計画を立て、それぞれの方法で学習することを目的としたものです。

10/24

全国過疎シンポジウム2024 inやまなし

県民文化ホールにおいて行われた全国過疎シンポジウムでの講演で、過疎地域では人口減少や少子高齢化の進展による地域産業の衰退や生活基盤の弱体化、集落消滅の危機など、さまざまな課題に直面している中、基調講演講師・天野馨南子^{かなこ}氏の講演では「統計データが示す人口の未来の作り方」その他、パネルディスカッションでは「地域で生きる」暮らしを紡ぐ強さと豊かさの



道志村の紹介ブース
(道志村の水を使用したコーヒーが人気でした)

共創」という演目で4名による講演がありました。講演終了後に交流会に参加し親睦を深めました。

10/30

後期高齢者医療 連合会議

山梨県自治会館において令和6年度第2回定例会が行われ出席しました。議案は次の通りです。

- ① 専決処分の報告及び承認
- ② 令和5年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定
- ③ 山梨県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ④ 令和6年度一般会計補正予算(第1号)及び特別会計補正予算(第1号)

審議の上、提案通り可決されました。その他、12月2日に保険証が廃止され、マイナンバーカードに移行する内容の規約変更が9月議会で決定されたことも併せて報告されました。

10/29
10/30

広報常任委員会

令和6年度山梨県町村議会広報編集委員行政視察研修

広報編集委員行政調査に茨城県美浦村議会、広報研究協議会視察研修を行ってきました。

『議会だよりみほ』は、全国町村議会議長会主催・第39回町村議会広報コンクール(令和5年度)【表紙デザイン賞】銅賞を受賞しており(No.141号)今回の研修場所に選ばれました。

研修内容は、①議会広報の取り組み、考え方、②議会広報における編集・デザインの考え方、③議会広報の今後の課題について下村宏議長をはじめ、広報公聴委員5人、議会事務局3人の出席があり、説明を受けました。

表彰されるようになった経緯と、見直すきっかけは、全国議長会の広報研修会に参加し「読まなければ意味がない」ということに触発され、情報発信力を高め手に取ってもらえる広報を目指し、議会だよりの見直しに取り組



美浦村の皆さんと



説明を熱心に聞く参加者

み、銅賞受賞に至った経緯を丁寧に説明して頂き、今後の議会だより編集の参考にしていきます。

11/28

建設厚生 常任委員会



利用者と共にくつろぐ委員

委員5名で道志茶屋の視察を行いました。昼休憩の後と言う事もあり、体操の時間との事でお年寄りと共に委員全員で音楽に合わせて体操を行いました。
お年寄りの笑う姿を見て、交流の場として無くてはならない施設だと思えます。その後、道志茶屋職員より施設運用の現状を伺い、道志村のお年寄りにとって必要な施設ですので、村議会としても出来る限りの支援を行ってきたいと思えます。

12/12

私のふるさと道志 村・15歳の提言 持続発展する道志村を考えよう



発表した生徒たち

SDGs 持続発展する道志村の未来について、道志中学校3年生(15歳)より提言がありました。村長、議会議員、教育委員、学校関係者が参加しました。8人の生徒による(8項目の提言)村の現状を理解したいろいろな活性化策、観光振興策等が提言されました。これまでも沢山の提案があり検討、実行例もあります。
議会としても内容を検討し実現できるよう前向きに協議していきます。

9 月定例会以降のおもな活動

10 月 4～5 日	源流サミット
10 月 8 日	町村議会研修会
10 月 15 日	議会報告会
10 月 16 日	総務文教常任委員会
10 月 24 日	過疎シンポジウム
10 月 29～30 日	広報編集委員会 研修
10 月 30 日	後期高齢者医療連 盟会議
11 月 5 日	全員協議会
11 月 11 日	戦没者慰霊祭
11 月 13 日	全国町村議長会全 国大会
11 月 14 日	福祉講座
11 月 15 日	山梨県町村広報編 集委員長会議
11 月 19 日	全員協議会
11 月 26 日	山梨県町村議長会
11 月 27 日	広報常任委員会
11 月 27 日	議会運営委員会
11 月 28 日	建設厚生常任委員会
11 月 29 日	地方議会活性化シ ンポジウム
12 月 3 日	定例会初日
12 月 6 日	定例会最終日
12 月 12 日	道志中学校 15 歳の提言



平成
29 年 6 月定例会

Q 公共交通の維持・充実につい
てどのように進めてきたか

A 住民のニーズに対応した新
たなシステムの構築を考え
なければならぬのか、費
用対効果も含め、早急に検
討します。

その結果今は



当時ニーズが高かった高校生の下校時のバスについて平成 30 年に実証実験をへて令和元年から新路線として運行を開始した。2024 年問題によりバス事業者より減便の申し入れがあり現在協議中です。

議会の考え

村民の利便性を一番に考え対処して頂きたい。



画・仲井 義晶

道志村和太鼓 同好会 響生

代表 河野 香代子さん
かわの かよこ

お客さんに喜んでもらえる演奏を

毎週水曜日の16時半～18時までの約1時間半、唐沢体育館をお借りして、現在小学2年生～80代までの13名のメンバーで練習をしています。

道志村に移住してきた発起人が、個人的に体育館を借りて太鼓の練習をしていたのですが、保育所に通っていたお母さんと



お子さんが、太鼓がやりたいと参加してくれたのをきっかけに、2019年春に和太鼓チームとして登録させてもらい、活動を始めました。

当初は親子で一緒に楽しめる遊びの場になればと思っていましたが、やまゆりセンターまつり芸能の部への出演のお誘いを受けたことで、人前で太鼓の演奏をするからには、気持ちを一つにしてお客さんに喜んでもらえる演奏をしたいと、チームとしての目標ができたことがとても大きく、練習の成果を発表できる場があることでチームの励みになっています。



やまゆりセンター祭りでの演奏



日頃より村民の皆様には当協会の活動にご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。
令和6年7月1日から道志村観光協会、会長に就任しました水越久敬です。

さて、観光協会は、現在49名の会員で構成されており、民宿・旅館やキャンプ場、飲食店などのお客の誘致や道志村を目的とするお客を増やすための仕組み作り、事業を行っております。中でも、小中学校の宿泊体験学習の受け入れ窓口となり、都市では味わえない道志村の体験を提供しています。
また、横浜市民ふるさと村として、民宿・旅館での宿泊やキャンプ場の利用に割引等のサービスが受けられる横浜市民向けの優待

道志村を目的とする誘客の仕組み作りや事業を進めています

道志村観光協会 会長 ^{みずこし ひさゆき} 水越 久敬 さん

サービスも実施しており、都市からの誘客に勤めています。

2020年12月より開始した、ふるさと納税返礼品として会員施設共通で利用できる地域限定利用券「道志トラベル・ファンチケット」では、毎年多数の寄付をいただき、道志村を応援（寄付）しながら誘客できる仕組みが定着してきました。

しかし昨今は、人口減少や物価高騰などの影響により、観光事業は苦しい状況ですが、各会員と協力し、道志村の観光の発展を図っていきますのでよろしく願います。



道志トラベル・ファンチケット

編集集—後—記

新年あけましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、2025年の幕開けを迎え益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

村民の付託を受け、村議会議員になり議会活動を始めて色々な村の曲面に対し村民の皆様方との意見交換をし、いろいろな意見を聞き、住んでみたい村、住んで良かった村の実現に向け頑張ります。

議会だより編集では読んでもらえることを第一に考え頑張っていきます。（佐藤広一）

広報常任委員会

委員長	佐藤 真澄
副委員長	半田 博敏
委員	杉本 孝正
委員	佐藤 広一

3月
定例会

3月4日（火）開会予定

議会報告会

開催レポート

日時 10月15日(火) 午後7時～9時
場所 やまゆりセンター2階ホール
参加者 議員10名、議会義務局長1名、村民13名

道志村議会では、議会改革の一環として開かれた議会を目指し第一回議会報告会を開催しました。議員の自己紹介、議会運営委員会、総務文教常任委員会、建設厚生常任委員会、広報常任委員会の各委員会から活動報告後、次のような質疑がありました。



薪の販売は

道志の湯に薪を供給しているNPO法人から、いつも薪を購入していたが、今年度から業務が(株)どうしに委託されたため、個人への薪の販売が行われなくなった。薪ストーブを役場の促進事業の一環で購入したのに、何のための事業なのか理解に苦しむ。いままで通り、道志の湯だけでなく、個人への対応も継続してほしい。寒くなるのに困っている。

回答

委託先を変更したが業務内容は変えてなく、現在道志の湯への薪供給が間に合わず、薪の供給が間に合えば個人にも販売します。

トンネル事業

これまで11年の間、村民に対してトンネル事業の説明は2度しかなかったし、一方的な内容で反対する機会もなかった。みんなが納得できるコースをみんなで考える必要がある。

回答

やまゆりセンターより山中湖方面ルート調査、検討を行った結果、予算等考慮し現ルートに至った。

目安箱設置

村民の声を集約できる「目安箱」を設置してほしい。

独自事業を

道志村は、国から決められた法定受託事務の仕事ばかりしていて、独自の発想がない。自治事務事業をもっとやらないと発展性がない。

熊目撃情報

熊の目撃情報が頻繁にタブレットで報告されるが削除されてしまうので残してもらいたい。

回答

ホームページには記載されています。

議会だより

道の駅で議会だよりを手にとって読んでいる人がいた。いろんなところに置いて道志をもっと知ってほしい。一道志の湯はない？

回答

道志の湯には設置済み。今後観光施設に随時設置します。

かたる会を

議会報告会には感謝している。いつも議会傍聴には参加しているが、何も言えないし聞くこともできないので不満がある。以前実施していた、ふれあいトークやかたる会を実現してほしい。

議員の印象

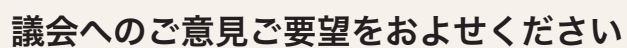
議員が村民ために頑張っているという印象を感じた。

交通問題

道志の教育はトップクラス。一方で高齢者対策は解決すべき問題が多い。厚い措置が必要。福祉問題では、交通問題が近隣地域に比べ見劣りがする。早急に行政、議会、住民、交通関係者(富士急)などと相談会を持ってほしい。

多数のご意見をいただき議会に持ち帰り後日改めて回答できるものには回答を行い、その他は議会の今後の課題といたしました。議会報告会后、反省会を行い、今後に向けての課題を話し合いより良い報告会になるよう努めてまいります。





第2回議会報告会……来年度開催予定ですが詳細は決まり次第報告します。